災害ボランティアセンターのレイアウトについて

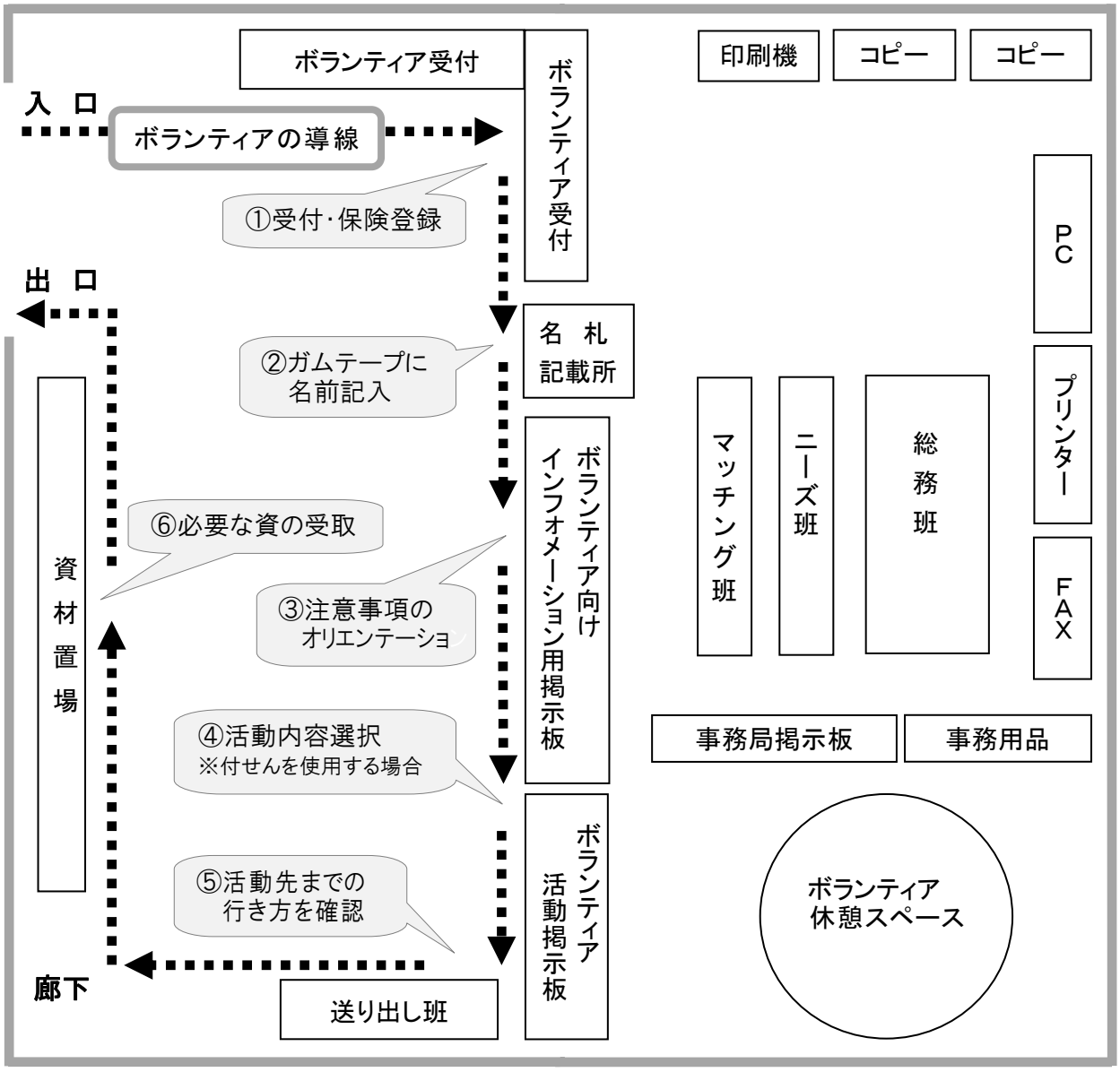
センター内の班のレイアウトは、センターの設置場所の決定後、下記のレイアウト（例）を叩き台として、次の点に留意のうえ、センタースタッフで協議のうえ、決定する。

なお、時間の経過による被災者の状況変化を勘案し、適宜見直すこととする。

【留意点】

■ボランティア受付、コーディネート、派遣の導線は必要最短にし、交差を避け、シンプルに、わかりやすくすること。

■ボランティア受付のために、広いスペースを確保すること。

■各班が相互の状況を把握しやすいよう、配置に留意すること。

【入口にセンター内の図を掲示】